

2011年2月28日

高校教員による高校生進路動向予測

～2010年「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」より～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO：柏木齊）ではこの度、高校の進路指導主事に聞いた3年後の各校における高校生の進路希望についての集計がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

■大学への進学希望は3年後、さらに上昇する見通し（→P. 3）

自校における3年後の高校生の進路希望の変化を予測してもらったところ、大学への進学希望について、「上昇する」が42.5%、「低下する」が8.9%となり、「上昇する」が「低下する」を大幅に上回る結果となった。特に、「県内の国公立大学」への進学希望が上昇する見通し（「上昇する」43.2%、「低下する」4.3%）。一方、「海外の大学」への進学希望は「低下する」が「上昇する」を上回った。

専門学校への進学希望は「上昇する」と「低下する」が同程度、短期大学への進学希望や就職希望は「低下する」が「上昇する」を上回り、大学への進学希望のみが上昇する見通しとなった。

■大学で進学希望が増えると思われる分野は「看護」がトップ 「医療・保健・衛生」「教育・保育」などの分野が続く（→P. 4）

3年後に進学希望が増えると考えられる大学の分野を予測してもらったところ、「看護」が45.4%でトップ。次いで「医療・保健・衛生」（43.0%）、「教育・保育」（31.9%）などの分野が続いた。

専門学校についても大学同様「看護」が42.5%でトップだった。

■大学の入試方法別では、「推薦入試」「AO入試」がさらに増加の予測 「一般入試」の増加を上回る（→P. 6）

入試方法別に大学への進学希望の変化を予測してもらったところ、「一般入試」「推薦入試」「AO入試」ともに「上昇する」が「低下する」を上回った。「上昇する」と「低下する」のポイント差をみると、「一般入試」が16.8ポイントに対し、「推薦入試」は31.9ポイント、「AO入試」は29.9ポイントで、「推薦入試」「AO入試」が「一般入試」を上回る結果となった。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

【調査概要】

■調査目的

－全国の全日制高等学校で行われている進路指導・キャリア教育の実態を明らかにする。

■調査方法

－質問紙による郵送法

■調査対象

－小社『キャリアガイダンス』を発送している全国の全日制高等学校の進路指導主事
(一部単位制を含む)

■調査期間

－2010年10月8日(金)～10月22日(金)
・11月1日(月)到着分までを入力対象とした。

■回収結果

	調査発送数	回収数	有効回答数	有効回答率
2010年	4981	1240	1208	24.3%

【回答校プロフィール】

■高校所在地(全体/単一回答)

	北海道	東北	関東・甲信越	東海・北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	無回答	
調査数									
2010年:全体	1208	7.9	10.1	29.4	14.6	12.7	12.4	12.2	0.7

■高校タイプ(全体/単一回答)

	普通科単独校	普通科中心で学科併設校	総合学科単独校	総合学科併設校	工業を中心とする高校	商業を中心とする高校	家政を中心とする高校	農業を中心とする高校	その他	無回答	
調査数											
2010年:全体	1208	53.0	20.4	6.5	1.0	5.5	4.5	0.2	3.5	4.2	1.3

■大学・短大進学率(全体/単一回答)

	調査数	70%以上	40～70%未満	40%未満	無回答
2010年:全体	1208	41.5	21.1	36.7	0.7

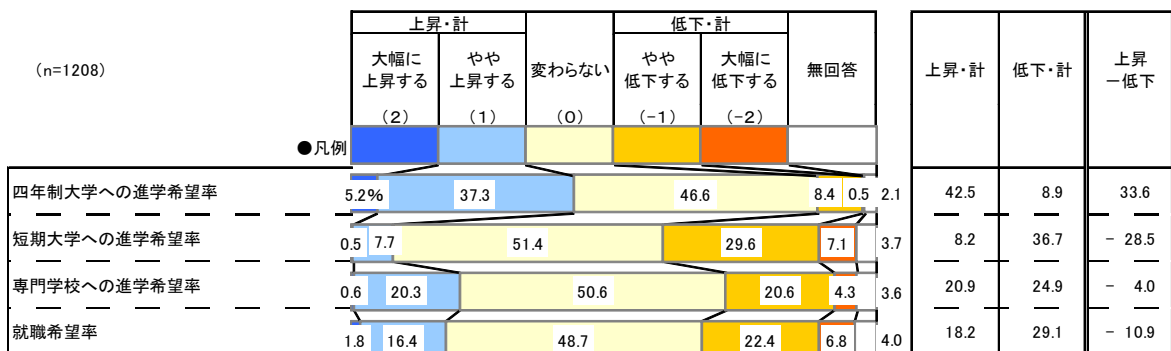
【進路動向予測】進路別

大学への進学希望は3年後、さらに上昇する見通し

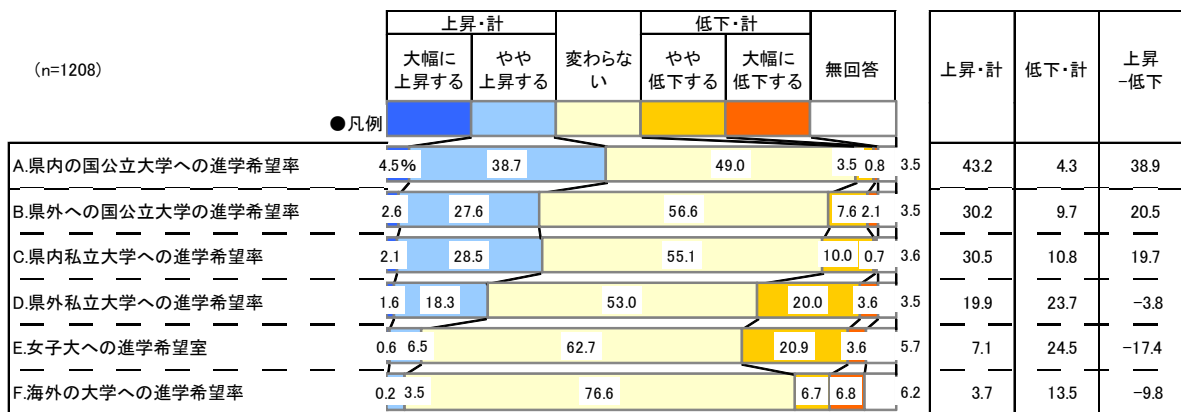
(各高校の進路指導主事に) 自校における3年後の高校生の進路希望の変化を予測してもらったところ、大学への進学希望について、「上昇する」が42.5%、「低下する」が8.9%となり、「上昇する」が「低下する」を大幅に上回る結果となった。特に、「県内の国公立大学」への進学希望が上昇する見通し（「上昇する」43.2%、「低下する」4.3%）。一方、「海外の大学」への進学希望は「低下する」が「上昇する」を上回った。

専門学校への進学希望は「上昇する」と「低下する」が同程度、短期大学への進学希望や就職希望は「低下する」が「上昇する」を上回り、大学への進学希望のみが上昇する見通しとなった。

■ 3年後の進学希望率・就職希望率変化予測_進路別(全体/各単一回答)



■ 3年後の大学への進学希望率変化予測_詳細(全体/各単一回答)



□ 進学希望、就職希望についての自由記述

【大学進学希望について「上昇する」と思う理由】

- ・ 大学入学の易化と高卒就職の難化から。
- ・ 経済低迷時に就職に有利なように高学歴を目指すから。
- ・ 以前は短大、専門学校が行っていた教育を四年制大学が行い始めているから。

【専門学校進学希望について「上昇する」と思う理由】

- ・ 家庭の財政状況が年々厳しくなりそうなので、早く就職に結びつく専門学校や就職希望が増えると思われる。
- ・ 就職希望者は増加するが、決定できず、最終的に専門学校へ進路を変えることになるから。
- ・ 高卒、大卒とも就職が難しい状況の中、資格取得を目指し、専門学校への進学が増える。

【進路動向予測】分野別

大学で進学希望が増えると思われる分野は「看護」がトップ
「医療・保健・衛生」「教育・保育」などの分野が続く

3年後に進学希望が増えると考えられる大学の分野を予測してもらったところ、「看護」が45.4%でトップ。次いで「医療・保健・衛生」(43.0%)、「教育・保育」(31.9%)などの分野が続いた。

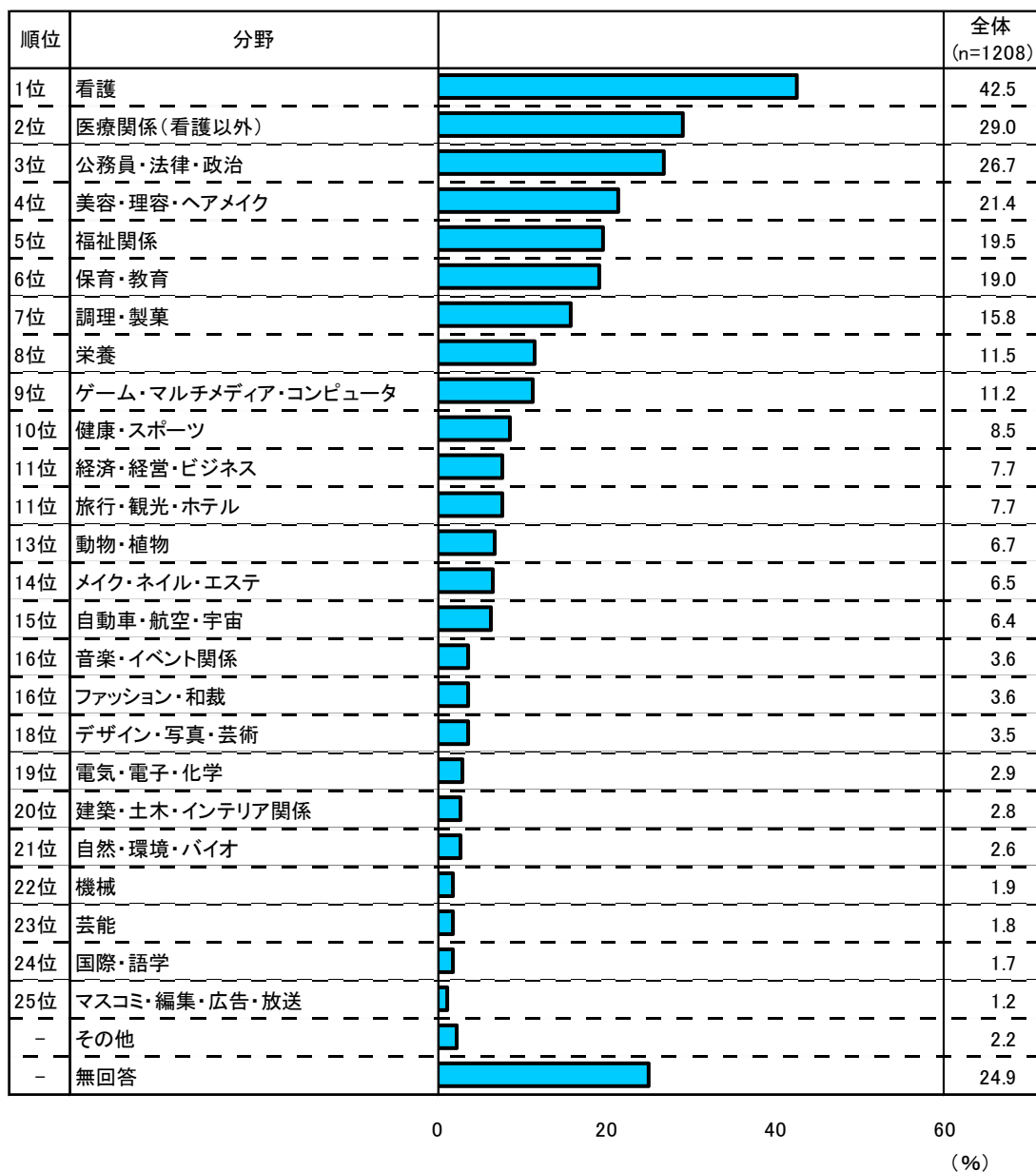
専門学校についても大学同様「看護」が42.5%でトップだった。

■ 3年後に進学希望率が上昇すると考えられる分野<大学>(全体/複数回答)

順位	分野	全体 (n=1208)
1位	看護	45.4
2位	医療・保健・衛生	43.0
3位	教育・保育	31.9
4位	経済・経営・商	30.8
5位	工学(電気・電子・情報)	20.7
6位	福祉	18.7
7位	国際関係・国際文化	15.6
8位	生物・農・獣医・林産・水産	14.7
9位	工学(機械)	12.3
10位	観光・コミュニケーション・メディア	12.0
11位	情報	11.8
12位	人間・心理	11.5
13位	法律・政治	10.9
14位	工学(エネルギー)	10.8
14位	体育・スポーツ	10.8
16位	工学(建築・土木)	10.5
16位	外国語	9.4
18位	家政・生活科学	9.2
19位	医学・歯学	9.1
20位	理学	7.6
21位	薬学	6.5
22位	社会	4.6
22位	地球・宇宙科学・環境	4.6
24位	工学(その他)	4.5
25位	美術・デザイン	3.8
26位	文化・地理・歴史	3.6
27位	文学	2.5
28位	音楽	1.2
29位	哲学・宗教	0.4
-	その他	1.5
-	無回答	14.1

(%)

■ 3年後に進学希望率が上昇すると考えられる分野<専門学校>(全体/複数回答)

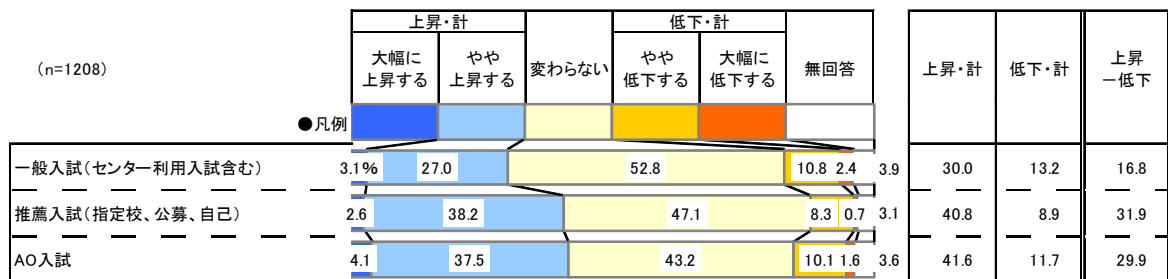


【進路動向予測】大学の入試方法別

大学の入試方法別では、「推薦入試」「AO入試」がさらに増加の予測
「一般入試」の増加を上回る

入試方法別に大学への進学希望の変化を予測してもらったところ、「一般入試」「推薦入試」「AO入試」ともに「上昇する」が「低下する」を上回った。「上昇する」と「低下する」のポイント差をみると、「一般入試」が16.8ポイントに対し、「推薦入試」は31.9ポイント、「AO入試」は29.9ポイントで、「推薦入試」「AO入試」が「一般入試」を上回る結果となった。

■ 3年後の入試方法ごとによる大学への進学希望率変化予測_入試方法別(全体/各単一回答)



□入試方法についての自由記述

【推薦入試やAO入試による進学希望が「上昇する」と思う理由】

- ・高校時代の取り組みを評価しての面接重視型の入試を希望する者が増えると思う。
- ・早い時期に進路決定したいと思う生徒、保護者が増加する。
- ・連携指定校制推薦入試の希望者が増える。

【一般入試による進学希望率が「上昇する」と思う理由】

- ・国公立の希望者が増えることが予想され、その際に一般入試の場合が多いと思われる。